



図書館だより

御殿山図書館にて

枚方市立図書館通信第76号

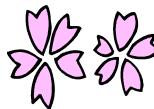
<http://www.city.hirakata.osaka.jp/site/sub-news/tayori.html>

発行：平成25年4月 枚方市立中央図書館（毎週金曜日・第4火曜日休館）050-7105-8121（こどものフロア）

〒573-1159 枚方市車塚2-1-1 TEL 050-7105-8141(代) FAX 072-851-0962

入学や就職など、新たなスタートを切る季節となりました。

図書館では今年も楽しい行事を開催して皆様のご利用をお待ちしています。



●春をつげる野菜 アスパラガス

16世紀のイタリアで、ひょうにより農作物が取れなくなった時、土の中に偶然アスパラガス(以下アスパラ)を発見し、甘くておいしいことを知りました。

それがヨーロッパ全土に広がり、日本の「桜前線」のように、4月のスペインの収穫を皮切りにヨーロッパを北上、「ホワイトアスパラガス前線」となり春をつげています。



アスパラはユリ科の雌雄異株の草本植物で、原産地は南ヨーロッパです。葉に見えるものは分岐した茎で本来の葉(茎に小さくついている鱗片葉)は退化しています。日本にはオランダから鑑賞用としてもたらされ、食用は大正時代輸入用の缶詰に使われたホワイトアスパラが始まりですが、今ではグリーンアスパラの収穫が多くなっています。

栽培はどちらも同じで、新芽に光を当てて育てるとグリーン、土をかぶせるとホワイトになります。

収穫はたねまきから3年後くらいからですが、10年間くらいは同じ株から収穫できるそうです。

日本の栽培技術は世界一と言われています。おいしいアスパラで春のおとずれを感じてみましょう。

(参考:「そだててあそぼう 48 アスパラガスの絵本」元木悟編/山福アケミ絵 農村漁村文化協会発行他)

○2月16日に楠葉図書館、3月16日にさだ図書館、4月1日に村野分室が改修工事を終え、リニューアルオープンしました。

○4月23日は「子ども読書の日」
4月17日から5月11日まで各館・各分室にて「ひらかた絵本まつり」を開催します。

○親子でたのしむ中央図書館たんけん
普段見ることができない書庫や自動車文庫などを見学。△日時など 5月11日(土)午前10時~11時、対象は小学生と保護者。△申込4月13日午前9時30分から。

各図書館と分室の4月のイベント情報

○読書会

- 香里ヶ丘(図) 中高生読書会『霧のむこうのふしぎな町』 柏葉幸子・著／講談社
 - 4月20日(土) 午後3時 2階ホール
- 枚方公園分室読書会『犬も食わない』 上沼恵美子・著／学研パブリッシング
 - 4月26日(金) 午前10時半



○乳幼児向けおはなし会

- 中央(図)
 - 「0歳のおはなしひろば」 午前10時半
 - 「1歳からのおはなしひろば」 午前11時10分
 - 4月10・24日(水)
- 牧野(図)「親子で楽しむおはなし会」
 - 4月17日(水) 午前11時
- さだ(図)「おはなしいっぱいおはなし会」
 - 4月17日(水) 午前11時



○工作など

- 東香里分室 工作「はるのそらにとぼそうフリスビー」
 - 4月27日(土) 午後1時~4時
- 釈尊寺分室 工作「くるくるパンダ」
 - 4月24(水), 25日(木) 午後1時~4時半
- 茄子作分室 工作「こいのぼりをつくろう」
 - 4月17日(水) 午後1時~4時半
- 氷室分室 工作「こいのぼりをつくろう！」
 - 4月18日(木) 午後1時~4時半
- 宮之阪分室 工作「かしだしカード入れをつくろう！」
 - 4月18日(木) 午後2時~4時半

○その他

- 中央(図) 手話で楽しむおはなし会
 - 4月27日(土) 午後2時
 - 香里園分室「手話の会」
 - 4月12・26日(金) 午前10時半~12時
 - 藤阪分室「手話の会」
 - 4月8・22日(月) 午前10時~12時
- (全てのイベントは掲載していません。詳細は各館室まで。)

ふれあいルーム (絵本で子育て)

- 中央図書館 毎週月曜日
- 香里ヶ丘図書館 第1・3(金)第2・4(木)
- 楠葉生涯学習市民センター 第2・4火曜日
- 菅原図書館 毎週日曜日
- さだ図書館 毎週木曜日(第3週は金)
- 牧野図書館 毎週金曜日
- 津田図書館 毎週水曜日
- 御殿山図書館 毎週金曜日

いずれも10時~12時30分(楠葉のみ9時30分~12時)

但し、図書館等の休館日には実施しません。

問合せ先(子育て支援室)072-841-1221代

ちょっと紹介

「飛行機の操縦」

(坂井優基:著/PHP新書)

近頃、以前では考えられなかった低価格で航空チケットを購入することができるようになりました。旅客機を利用して旅行をされる方も、かなり増えているのではないのでしょうか。

本書は、旅客機のパイロットが何を考えてどのように飛行機を操縦しているのかを詳述したものです。

やはり大勢の乗客を乗せて飛ぶわけですから、当然のことながら一番大切なことは、事故を起こさないこと、乗客や乗員の命を守ることです。そのため、現代のパイロットに求められる能力は、意外なことに操縦技術は2割にすぎず、残りの8割はシステムのマネジメント能力や判断力だといえます。航空機や空港といったハード面、管制システムや人的要素といったソフト面、そして天候といった自然現象等々あらゆる要素を考慮に入れて、何百トンもある機体を操らなくてはなりません。

パイロットといえば、それこそ「超人的な視力や反射神経」の持ち主であるというイメージを抱いていたのですが、それが大きく覆されます。

(御殿山図書館)